A

小テーマ①

相手を思いやること。

相手のことを思いやること。

相手が「いやだな」と感じる言葉を使わない。

きつい言葉を使わない

相手がいやがりそうな話をしない。

自分が言われていやな気持ちになるようなことは言わない

自分の発言で相手がいや表情をしていたらその話をしないようにする。

その会話をして相手がどう思うかをしっかり考える。

もし意見が対立した場合は、相手の意見を尊重しおたがいが気持ちのよい話し合いを心がける。

誰かの悪口を相手に伝えるなど、いじめが生まれる原因を作らない。

笑顔で話すなど、お互いに気持ちの良い会話をする。

小テーマ②

相手が「いやだな」と感じたら。

相手が、心と体のどちらかに苦痛を感じたとき

いじめられている人が、その人に「いや」と感じたときからいじめられている自分が「いや」と感じるときまで。

相手がいやなことをにちじょうてきにくりかえすこと。

相手が「いやだな」と感じたとき

相手が「いやだな」と思ったり、傷ついていたら、からかうことはふざけているつもりでも、いじめ

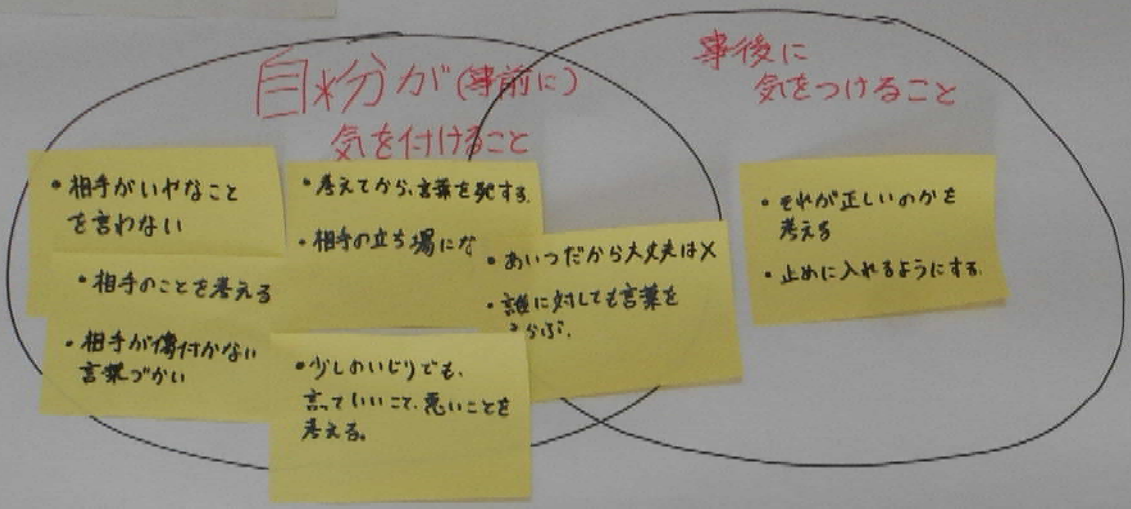
学校などに「行きたくない」と思ったら。

相手が泣くまでいやなことをすること。

まとめ

ふ段の会話では相手を思いやること。そして、相手がいやだなと思うような言葉を使わないことが大切。また、会話だけに限らず、相手が少しでもいやだなと思ったらいじめであることを強く認識し、そのような行動をしないこと。

B



相手が感じること

・相手がやな気持ちになったら。

いじりがヒートアップして、相手が嫌だと思いはじめたら「いじめ」

本人が「いじめ」と思ったら、それは「いじめ」。

・相手がすこしでも「いやだ」と思ったら

相手が「いやだ」「くるしい」「こわい」などいやな気持ちになったらどんな理由があってもいじめ。

・相手が[illegible]悲[illegible]思いをしていたら

いじめのせいで、相手が「死」を選んだりしたら、それはいじめではなく「犯罪」

自分が感じること

分が「やりすぎ」と思ったらじめ。

Cのいじめをうまないために

1

相手の顔色や、表情を読みながら発言する。

2

・相手の気持ちを考えた発言をする。

・自分がお手本
→相手の気持ちを考える。
みんな、平等に接する。

自分が言われたらどう思うかを考えて発言する

3

・つよい言葉は使わない
→(例)しね
本当にしんだらどうするの?

・わるぐちを言わない
・人がイヤな思いをする言葉をつかわない
・言葉づかいを気をつける

②どこからどこまで??

SOS

ハンドサイン

いやだと思ったらいじめだけど、表に出さないとこれはいじめ!!となりにくい

・相手がイヤな思いをしたらいじめ。

いじめられている人がいやだと思ったらいじめだと思う

少しでも心にきずがついたらいじめになる。

される側が嫌だと感じるところから、もう限界だと感じるところまで。

文部科学省
平成25年度
1. 学校にでいせきしている生徒に行なう。
2. 心理的、物理的な行動をおかしている。
3. 精心的な苦つうを感じている。

バウンダリー
いやなことはいやって言っていいんだよ。

理由

ことわる
田つけくわえる

また今度ね!

~~シグナル~~
言えなくてもにぎにぎボーヤ

D
相手を傷つけない言葉
①
周りをみる
②
相手が嫌な思いをしたら…
相手が「いや」と思ったら全ていじめ
いじめに定義はない！

E

① いじめを生まないために、普段の会話で気を付けることは何か。

相手のことを考える

しゃべる前に、その言葉で相手が傷付かないか一度考える

言葉を使ったら相手はどう思うか考え、相手が傷つかない言葉で言葉。

伝える前に言葉を整理

相手がいやがる言葉を使わない。すぐ思わずいや言葉をそれぞれ考えてみる。

相手がいやな話をしない

相手がいやだと思う話をしない。相手がいやだと思う話をすると、トラブルになるから

[illegible]

② どこからどこまでが「いじめ」なのか。

悪口や暴力など相手が嫌なこと全て

⇒ いじめ

相手がおこっていなくても、相手がいやだなと自分から理解し、周りで見ている人もいやだなと思っている時点でいじめである。

わるぐちへばうわりょ 相手がいやになったらどうこうとかになるから

相手が「嫌」と感じたら、自分が少しいじっただけでも「いじめ」

いじめの範囲にこれくらいなら大丈夫という下限はなく相手が辛い嫌だと思ったらそれはいじめ。

自分がどう感じていても、相手が嫌ならいじめになる
⇓
基準は相手！

悪口やからかうなどの言葉や無視からたたくけるなどの暴力までがいじめだが、どんなことでも相手が嫌な思いを深く感じていたらいじめになる。

大テーマ 「いじめ」を起こさせないためにどんな行動をすればいいか。

相手の立場になって考えて、誰も嫌な思いをないようにする

相手を中心に考え、相手がいやだと思わないように自分で考える

相手が嫌だな辛いと思ったらいじめになるから、相手の基準でいじめかどうか考えて言葉や行動をしよう。

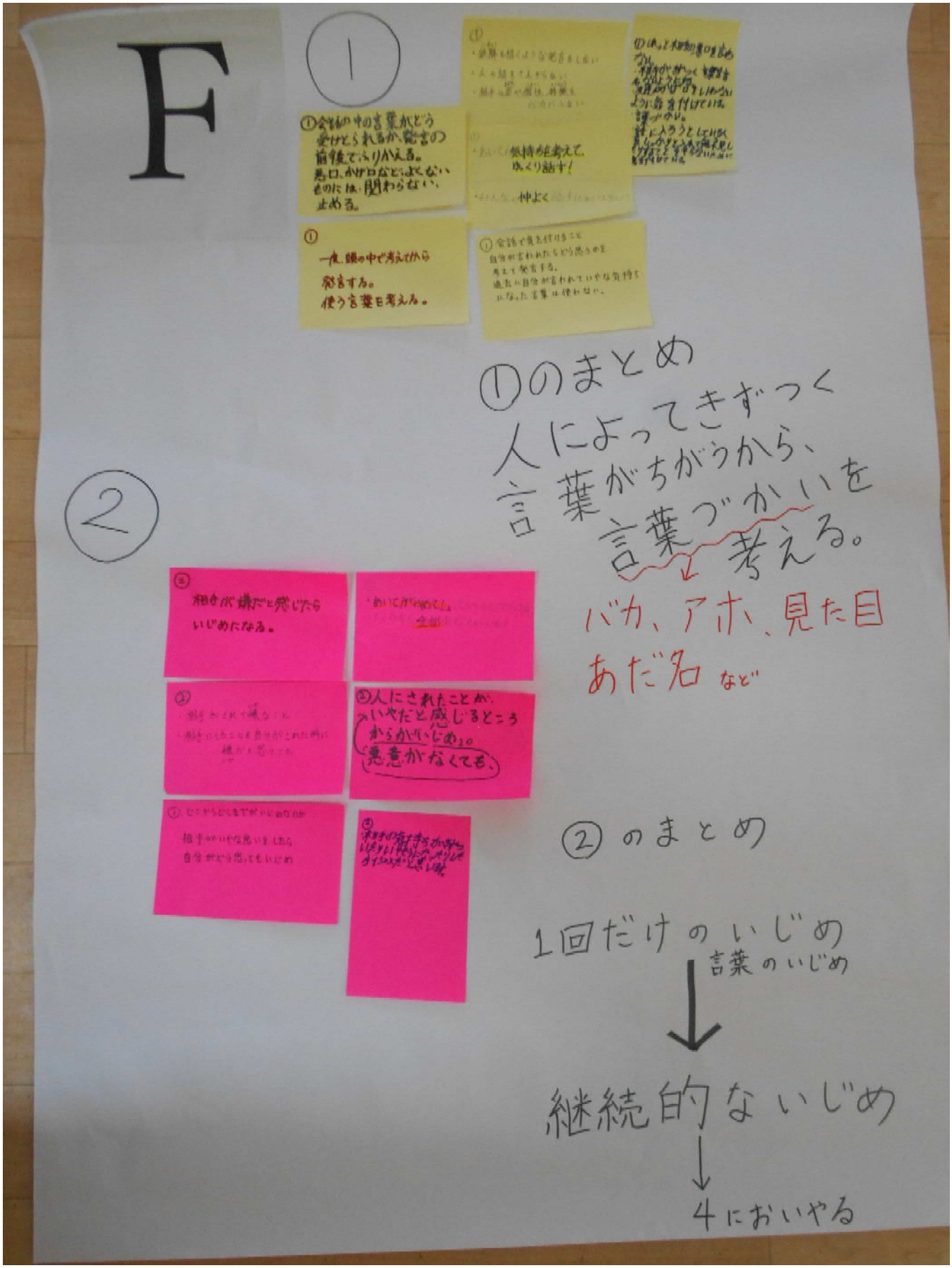
自分がこれはいじめだな。というのを確認した。自分から注意をし、それでもいじめが無くなったら、旦人の先生や旦人外の先生、親などに相談する。

「いじめ」につながるような発言をしないようにするのが大切だけど、もし間違って言ってしまった時は、相手にあやまる。

まず、自分からは絶対にいじめを始めない気持ちを持つ。友達と話の中でほかの友達の悪口などが出たら、その話にのらないで、できればやめさせる。また友達がいじめに合っていることを見かけたら、もっと声をかけたり話を不要に聞いたりするのどいと思ったら大に相談する。

⇓

- 相手を中心に考える
- いじめを見たら注意する・相談する
- 間違ったらあやまる
- 「いじめ」を絶対にしないという強い気持ちを持つ。


F
①
①会話の中の言葉がどう受けとられるか、発言の前後でふりかえる。悪口、かげ口などよくないものには関わらない、止める。
①
一度、頭の中で考えてから発言する。使う言葉も考える。
①のまとめ
人によってきずつく言葉がちがうから、言葉づかいを考える。
バカ、アホ、見た目あだ名など
②
相手が嫌だと思ったらいじめだなる。
人にされたことがいやだと感じるところからがいじめ。悪意がなくても。
②のまとめ
1回だけのいじめ
言葉のいじめ
継続的ないじめ
4におやる

G

相手がいやな気持ちにならない言葉を選ぶ。

自分の考えをすぐに言葉に出すのではなく、その言葉によって相手がどんな気持ちになるかを考えてから発言する。

相手の気持ちを考えて、相手との違いを意識する。言葉づかい

①悪口の話になったら話題を変える。

多数派を武器にしない。

人に話す前に言葉一つ一つを考える。

・相手の気持ちを考えて言葉を選ぶ。

まとめ（個人）
自分目線で考えるのではなく、相手目線での行動をする

まとめ
相手の気持ちを考えて、みんなが話しやすい、意見しやすい環境を一人一人が心がける。

まとめ
相手がされていやなことや、相手の気持ちを考えながら、行動する。

大テーマ
まわりに流されず自分の考えを持ち発言する。一人一人が普段の生活の中でいじめを生まないように行動する

大テーマ
「いじめ」にはげんどはなく相手が「いじめ」とおもったらいじめ。いじめをおこさないためには言葉一つ一つ考えてから話す。

③暴力、無視、いじり、SNSでのいやがらせなど相手がつらいと感じたらいじめ。

・いじめを受けていると思ったらいじめ

・相手の目線で考えた行動をとる

2. 相手が「いじめだよ」って思ったらいじめ。

②相手が嫌がり始めたところから。

小テーマ
1.1まではけんかになるけれど、1.2からはいじめになる。

・相手が「嫌だ」と思った時点でいじめ